



一般社団法人 香川県臨床検査技師会 発行者：高橋 宗孝

第3回 理事会議事録

日時：2016年7月31日(日) 13:00～14:00
 場所：サンポート高松 55会議室
 出席者：高橋、宮川、荒井、泉宮、横内、小林、唐木、平内、松村、香川、太田、高杉、森本、多田、山本
 欠席者：小原、安毛
 議題：1) 中四国支部幹事会報告
 2) 検体採取講習会について
 3) 香川県立保健医療大学大学祭でのイベントについて
 4) 香臨技公益事業の県民健康保健事業について(検査と健康展)
 5) 精度管理事業について
 6) 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」について

議事内容：

議事1. 中四国支部幹事会報告

高橋会長より7/2(土)岡山で開催された中四国支部幹事会について報告がされた。

◆日臨技報告

6/18(土)総会が開催された。中四国支部長は丹下氏、理事は土居氏・岡田氏(前回からの継続)に加えて、新たに宮島会長の推薦で宮川香臨技副会長(キナシ大林病院)が就任した。

◆支部部門長

病理細胞部門は長町健一氏(高松赤十字病院)に依頼し了承を得た。

◆平成28年度中四国支部医学検査学会の進捗状況

11/26(土)～27(日)まで高知市で開催。

*演題募集の状況：7/1(金)現在で113演題募集あり、募集期間延ばし170演題くらいまで増やす予定。

*ランチョンセミナーの状況：26日(土)8社、27日(日)7～8社の予定。

*その他：11/25(金)の宿泊について山口県は10名まで、その他の県は5名まで中四国支部が負担。

◆平成29年度中四国支部医学検査学会の進捗状況

来年11/11(土)～12(日)に山口県で開催。

◆山口県技師会会長の交代について

病理をされていた洪田秀美氏が就任。

◆平成30年中四国支部医学検査学会(香川県開催)の日程

平成30年11/24(土)～25(日)で決定した。会場となるサンポートホールは11/23(金)～25(日)を予約済。

今後、準備委員会を立ち上げ、順次準備を進めていく。

議事2. 検体採取講習会について

8/6(土)～7(日)で検体採取講習会が開催される。

議事3. 香川県立保健医療大学大学祭でのイベントについて

小林広報部長より資料をもとに説明。

例年は、日臨技の「検査と健康展」を大学祭で開催していたが、今年度より別に開催することとなった。

○開催日：平成28年10月22日(土) 9:00-16:00

○内容：1)健康チェック(指尖採血なし)

*肺機能、頸動脈エコー、血管機能、骨量、血圧、ヘモグロビン測定

*臨床検査技師による検査説明(医師による説明は実施しない)

2)臨床検査体験コーナー

3)健康ポスター・パネル展示

○スタッフ人数：約25名

○必要経費：15万円(人件費・機器レンタル料など)

○主催：香川県臨床検査技師会

理事より、今回は医師による説明がないことについて不安があるとの申し出があった。当日、混乱しないように結果説明の統一を図る。

議事4. 香臨技の公益事業の県民健康保健事業について(平成28年度 全国「検査と健康展」)

山本事務局長より資料をもとに説明。

○開催日：平成28年11月13日(日) 10:00～15:00

○場所：サンポートホール高松 ホール棟1階 市民ギャラリー

○内容：1)健康チェック

*指尖採血による血糖とHbA1c測定

*肺機能、頸動脈エコー、血管機能、骨量、血圧、ヘモグロビン測定

2)検査説明・相談コーナー

*医師及び臨床検査技師による検査説明

3)臨床検査体験コーナー

*微生物やがん細胞などの表示(顕微鏡が持ち込めないためモニターで表示)

*超音波検査装置での模擬体験

*モデルアームによる採血模擬体験

4)健康ポスター・パネル展示

*臨床検査技師の仕事及び臨床検査に関する内容

○スタッフ人数：約40名

○必要経費：約54万円(50万円は日臨技の助成金の予定)

○主催：日本臨床衛生検査技師会及び香川県臨床検査技師会

理事より、モデルアームによる採血の模擬体験等で気分不良となる人が出てくる可能性があるため、安全管理をしっかりとしておくべきという意見があり、今後対策を立てる。

議事5. 平成28年度精度管理事業について

宮川副会長より説明。今年度は11/9(水)にサーベイ資料配布予定。

議事6. 平成28年度「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」について

松村理事より、来年2/18(土)～19(日)または、2/25(土)～26(日)が妥当となった。

《研修会のご案内》

① 平成28年度 四臨協 微生物検査研修会

日 時：平成28年9月11日（日）9：00～15：30（受付9：00～、開会挨拶9：30）

場 所：徳島大学医学部 青藍講堂

内 容：9：40～10：40 【症例報告】

- 1.血液培養から*Rothia mucilaginosa* を検出した1例 三浦美奈子（市立宇和島病院）
 - 2.尿および血液より*Corynebacterium riegelii* が検出された1例 竹内 香純（済生会松山病院）
 - 3.女児の陰股部分分泌物より*Neisseria gonorrhoeae* が分離された1症例
山本由里香（徳島県立中央病院メディエンス検査室）
 - 4.*Streptococcus agalactiae* による細菌性心外膜炎の1例 森本 瞳（近森病院）
 - 5.*Aerococcus urinae* による化膿性脊椎炎の1例 西村 恵子（四国こどもとおとなの医療センター）
 - 6.VREアウトブレイクにおける検査部、ICTの対応 藤川 栄史（香川労災病院）
- 10：40～11：00『四国地区における耐性菌分離状況のアンケート報告』中村 一哲（高知赤十字病院）
- 11：10～11：50【ミニレクチャー】『IGRAによる結核検査』 木藤 孝（株式会社キアゲン）
- 12：00～13：00【ランチセミナー】『抗酸菌検査ガイド2016について』永禮 旬（極東製薬工業株式会社）
- 13：10～14：00【教育講演Ⅰ】『本院での*M. intaracellulare* の多発事例について』
東 桃代（徳島大学病院）
- 14：10～15：30【教育講演Ⅱ】『抗酸菌の感染対策と非結核性抗酸菌症の最近の知見』
吉田志緒美（独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 臨床研究センター）

参加費：2,000円（検査技師で非会員の方は、参加費10,000円）

生涯教育研修：専門20点

備 考：別紙案内あり

② 平成28年度 第2回 血液検査研修会

連絡責任者：杉 理恵 ☎087-811-3333

日 時：平成28年9月11日（日）14：00～16：00

場 所：香川大学医学部 臨床講義棟 1階

内 容：凝固異常症例 西谷 真里（香川大学医学部附属病院）
血友病のup to date 梶原 宣子（シスメックス株式会社）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

③ 平成28年度 第3回 生理検査研修会

連絡責任者：近藤 英俊 ☎087-841-9141

日 時：平成28年9月25日（日）10：00～12：00

場 所：済生会病院

内 容：消化器・消化管超音波検査、講義&ハンズオン

講 師：香川県技師会・超音波検査技師

定 員：60名 参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

④ 平成28年度 第2回 病理検査研修会

連絡責任者：長町 健一 ☎087-831-7101

日 時：平成28年10月1日（土）13：00～17：00

場 所：高松赤十字病院 中央診療棟4階会議室 高松市番町4-1-3 TEL:087-831-7101

内 容：講演1「リンパ球増殖性疾患の臨床と病態」 大西 宏明（高松赤十字病院副院長）
講演2「免疫細胞病理学の基礎」 船本 康申（大樹会総合病院回生病院）
シンポジウム「悪性リンパ腫診断における病理細胞診検査を考える」

長町 健一（高松赤十字病院）、虫本 一平（三豊総合病院）、山内 豊子（香川県立中央病院）

参加費：500円 生涯教育研修：専門20点

申込み：日臨技ホームページより事前登録を行ってください

備 考：認定病理検査技師の更新単位を申請しています

⑤ 平成28年度 四臨協 免疫血清検査研究班研修会

日 時：平成28年10月9日（日）9：30～15：30（受付9：00～、主催者挨拶9：30）

場 所：徳島大学医学部附属病院 臨床第2講堂

内 容：テーマ「免疫血清検査 -今、聞いておきたいこと-」

9：40～11：00 一般演題

- 1 高感度ルミパルスHB s Ag-HQの使用経験 廣田 桂吾（徳島市民病院）
- 2 L-FABP測定試薬ルミパルスL-FABPの基礎的検討と糖尿病性腎症における有用性について
片倉 有希（香川大学医学部附属病院）
- 3 (仮)高知県におけるエイズ対策とエイズ診療拠点病院としての役割
楠瀬 慶二（高知大学医学部附属病院）
- 4 (仮)M2BPG iの有用性について 赤尾 智広（済生会今治病院）

11:10~11:40

「高感度トロポニンIの導入基礎検討と当ラボにおける有用性」

久保 由菜 (高知県立幡多けんみん病院 LSIメディエンス検査室)

12:00~13:00 ランチョンセミナー

「免疫血清検査の技術革新~糖鎖変化を診るバイオマーカー~」

松崎 英樹 (シスメックス株式会社IC-PE商品開発グループ)

13:20~14:20 教育講演

「エクルーシス試薬NT-ProBNP IIのご紹介」松島 信介 (ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)

「(仮)NT-proBNP全面切り替えにあたってのポイントと障害について」津川 和子 (広島大学病院)

14:30~15:30 特別講演

「免疫測定法における定量値の問題点」 西宮 達也 (愛媛大学医学部附属病院)

参加費:2,000円 (別途駐車料金100円が必要です) 生涯教育研修:専門20点

申込み:別紙送付の申込用紙にて、郵送もしくはFAXをお願いします。

⑥ 平成28年度 臨床化学・免疫血清検査合同研修会

連絡責任者:谷本 光章 ☎087-816-1301

日時:平成28年10月13日(木) 19:00~20:00(予定)

場所:キナシ大林病院 3階会議室

内容:異常を見逃さないための精度管理 植村 康浩 (バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社)

参加費:200円 生涯教育研修:専門20点

⑦ 平成28年度 日臨技中四国支部 生物化学分析部門研修会

連絡責任者:香西 宣秀 ☎087-876-1145

日時:平成28年10月30日(日) 9:00~15:30

場所:愛媛大学医学部附属病院 40周年記念講堂

内容:演題① 当院でのsdLDL使用経験について 丸山 恭平 (JA広島総合病院)
② HDL2-C, HDL3-Cの測定と頸動脈内膜中膜複合体厚との関連:Shimane CoHRE Study
野畑 亜希子 (島根大学医学部附属病院)

③ 心疾患とトロポニン

片岡 直樹 (高知赤十字病院)

④ 高感度トロポニンTの有用性

尾崎 弘明 (倉敷中央病院)

⑤ 心疾患マーカーの変動と心エコー検査 (虚血性心疾患) 檜垣 里江子 (喜多医師会病院)

⑥ 心疾患マーカーの変動と心エコー検査 (心不全) 西尾 進 (徳島大学超音波センター)

講演① BNP迅速測定の有用性と最近の話題 丸尾 直子 (東ソー(株)バイオサイエンス事業部)

ランチョンセミナー:レニン-アンジオテンシンの生理的機能と検査値

安藤 喜典 (和光純薬工業株式会社)

講演② 心疾患とバイオマーカーについて

高田 康徳 (愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学)

講演③ 高血圧治療と臨床検査 大藏 隆文 (愛媛大学院医学系研究科循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

参加費:3,000円 生涯教育研修:専門20点

申込み:日臨技ホームページより事前登録を行ってください

備考:意見交換会に参加される方は別紙案内状参照の上、FAXでお申し込みください。

⑧ 平成28年度 日臨技中四国支部 臨床血液部門研修会

日時:平成28年11月13日(日) 9:50~15:30 (受付9:00~、開講式9:50)

場所:愛媛大学医学部附属病院 40周年記念講堂 愛媛県東温市志津川454 TEL:089-964-5111

内容:テーマ「血液疾患の分子生物学」

10:00~10:30 一般演題I 「mono-MAC症候群と診断された家族性骨髄異形成症候群の一例」

朝霧 正 (高知大学医学部附属病院)

10:30~11:00 一般演題II 「ライソゾーム病の一例」

難波 はるみ (倉敷中央病院)

11:00~11:30 一般演題III 「好酸球増加を伴い少量イマチニブが著効した

PDGFRB遺伝子再構成を有する骨髄増殖性腫瘍の1例」

藤村 一成 (三豊総合病院)

11:50~12:50 ランチョンセミナー「未定」

13:00~14:00 講演I 「造血器腫瘍の染色体・遺伝子異常」

江口 真理子 (愛媛大学大学院医学系研究科 医学専攻 分子・機能小児科学)

14:15~15:15 講演II 「がんに対する細胞免疫療法

ーがん抗原特異的容体発現T細胞療法を中心としてー」

越智 俊元 (愛媛大学大学院医学系研究科 医学専攻 分子・機能血液・免疫・感染症内科学)

15:15~15:30 閉講式

定員:130名 参加費:3,000円 締切り:平成28年10月21日(金)

***研修会の参加には、会員証を必ず御持参ください。**

注. 検査技師免許取得の方で非会員の場合は、参加費として5,000円を頂きます。(四臨協は、10,000円)尚、学生は無料。他職種の方は、会員と同額です。

中国地区の研修会については、日臨技ホームページをご参照下さい。

「まんでがん診療所 糖尿病イベントに参加して」

藤原 知輝 (香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科4年)

まんでがん診療所糖尿病イベントに学生ボランティアとして参加してきました。私は将来、病院で働き、臨床検査技師として糖尿病教室に加わりたいと思っているので、いろいろ貴重な経験ができてとても勉強になりました。

実は私は、去年もこのイベントのボランティアに参加していました。去年も盛況でしたが、今回はより多くの方が来てくださいました。大学から私を含めて合計8名の学生がボランティアとして参加しましたが、皆忙しく与えられた役割をなんとかこなしていました。具体的には、来場者の誘導、検査値の記入や簡単な説明などをさせてもらいました。検査測定ははじめのうちは滞りなく回っていましたが、時間が経つにつれ来場者が増え、誘導が難しくなりました。血糖、HbA1c、血圧を測定するのですが、すべてを同時に測定できないので、血糖、HbA1cの検査が空いていないときには、先に血圧を測定してもらったり、血圧を先に測定した人は優先的に血糖、HbA1cの検査を受けることができるようにしたり、あるいは講演の方に行ってもらったりなど、計画的に優先順位をつけて案内することの大切さを学びました。また、その案内や誘導において、スタッフの方々、特に看護師の方は人と接するのがうまく、対応が上手だと感じました。これからの臨床検査技師はコミュニケーション能力が必要になってくると思うので、私も見習いたいと思いました。

検査値の記入の際、最初は手順に不慣れなため失敗もりましたが、作業をしながら自分達でやり方をうまく修正していくことができました。特に難しかったのは、分かりやすく説明することでした。どういった言葉で説明すれば分かりやすく伝えることができるのかわからず、つい専門的な用語を使ってしまい、適切に伝えることができたとは思いませんでした。分かりやすく説明するためにはしっかりと勉強し、内容を理解していないといけないので、就職してからも日々勉強を続けていこうと思いました。

来場者が予想よりも多いなど、不測の事態が起こってもイベントを成功させるためには、様々な事態に備え、臨機応変な対応ができるようになる必要があると思いました。今回私を含めて学生ボランティアはそういったことができていなかったもので、周りのスタッフの方々や来場者の方々に迷惑をお掛けしました。できないことも多々ありましたが、うまくいったことや得たものもたくさんありました。自分達なりにそれぞれの役割を一生懸命に果たすことができ、達成感を得ることができました。



今回まんでがん診療所糖尿病イベントに参加して得られた経験は、普段の学校生活では学べないこと、気付けないこと、体験できないことが多く、とてもいい経験ができ、貴重な時間を過ごせました。今回のボランティアで学んだ事をこれからの生活に活かしていきたいと思います。機会があれば、またボランティアに参加したいと思います。

・ 編集後記 ・

今年の夏は非常に暑い日が続いていますね。ニュースでは久しぶりに取水制限の話も出ており、暑さだけではなく水不足も心配になってきました。8月の中頃に暑さのピークらしいですが、雨が降って涼しくなってくれればと思っています。

私事ですが、先月第一子が生まれました。出産の場に立ち会ったのですが、生まれてきた娘が初めて泣いた声を聞いた時の感動は何とも言えないものでした。無事生まれてくれた我が子と産んでくれた妻に感謝しつつ、思わず涙ぐんでしまいました。まだまだ未熟者ですが、親としても臨床検査技師としても頑張っていきたいと思っています。

藤重 和久 (永生病院)



臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

Eメール: kobaboobu0128@hotmail.co.jp

香臨技ホームページ:

ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001

臨検タイムス香川 通巻 253 号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 山口 航

【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

平成28年8月印刷・発行